

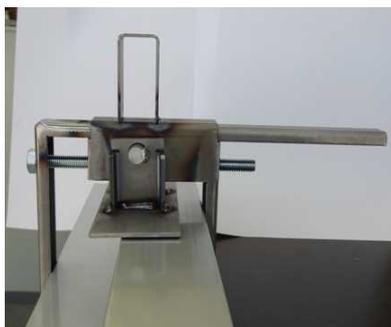
## 社 報



## 安全が、おかしい！

## 手摺天端金物

失敗・改良を繰り返しています、手摺天端金物ですが、第3次試作が出来てきました。バルコニー手摺上にパイプサポートを設置する為の金物です。手摺天端勾配に合わせて接地板が回転するので、どんな勾配にも対応できます。また、手摺内側に金物やハンドルが突出しませんので、廊下の通行にも障害になりません。



手摺天端金物3次試作品

前から感じていたことではありますが、建設業界の安全活動がどんどんおかしくなっているような気がします。

わずかな怪我でも、事故扱いで反省会や再発防止策など、あきらかに行きすぎています。

その結果、現場では次々に安全ルールが生まれ、運用も厳格化されています。ルールから外れた行為をすると、ペナルティーや退場処分を受けるなど、これでは安全の為に働いているのではないかと思うほどです。

そもそも労災は使うことが前提とされている保険です。事故の発生が皆無であれば、もともと保険など必要ありません。現場で発生する怪我のすべてが労災保険で手当てすることは当然であり保険の主旨なのです。

事故を起こしたくて起こす人など、まっとうな職人であれば、そんな人は誰ひとりいるはずありません。モノ作りに励み、腕を磨いて品質の高いものを作る、作り方を改善してより早く多くのモノができるように工夫する。時間を惜しんで、ただひたすらモノ作りに集中する。

そうした過程で、もし事故が発生した場合の、労災保険なのです。

安全ルールは過去の災害事例から再発防止策などを反映して作られていきます。いわば失敗を逆の手本としてルールは作られてきました。

これを繰り返した後は、いわゆる素人工を対象にしたようなルールになってしまっています。

過去の失敗例から作られて安全ルールを厳格に守ろうとすると、職人の腕も落ちてしまうのではないかと思うのです。

工夫し改善しても、一度事故を起こせば失敗として烙印を押されて、再発防止策が出来てしまいます。

腕も磨いても評価されず、素人工の扱いを受ける。何年も腕を磨いても朝礼の列に並んだとたんに、素人工では、職人としてのプライドもなくなってしまう。

偏った意見であることは百も承知の上です。

「安全が、おかしい！」

素人工の扱いにも事情を理解し、我慢した職人がリタイアしていきます。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 自動車保険料がアップ

ここ数年、毎年のように自動車事故が発生しています。幸いにも人身事故はなく物損ばかりですが、損害については自動車保険で対応することになります。

自動車保険は、事故で保険支払いが発生すると、翌年から保険料率が上がり、保険会社に支払う代金が増えてし

まいます。

当社が支払う保険料は来年度分で140万円(13台分)となりました。

法人契約は保険料が高いのですが、事故が多くて年々増加していく現象には歯止めが必要です。運転する方は、安全運転で人身事故はもちろんもちろん物損事故も防いでください。

## 2012年 安全成績

## ■現場災害 H24.1.1-H24.10.5

休業災害	-----	0
不休災害	-----	3
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	3

## ■交通災害 H24.1.1-H24.10.5

人身災害	-----	0
物損災害	-----	2
合計	-----	2